

対 策 計 画 書

届出者	住所	東京都港区高輪3-22-12	氏名	独立行政法人地域医療機能推進機構 理事長 尾身 茂
特定事業者の主たる業種		83医療業		
該当する特定事業者の要件		レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者	
事業の概要		地域医療機能推進機構は全国57病院（大阪府3病院）のグループとして医療、リハビリテーションその他地域において必要とされる医療及び介護を提供する機能の確保を図り、もって公衆衛生の向上及び増進並びに住民の福祉の増進に寄与することを目的としています。		

◎ 温室効果ガスの排出の抑制に関する目標

(1) 計画期間			
2020 年	4 月	1 日～	2023 年 3 月 31 日 (3年間)
(2) 基準年度における温室効果ガス総排出量		11,903 t-CO ₂	
基準年度における温室効果ガス総排出量 (平準化補正後)		13,039 t-CO ₂	
(3) 温室効果ガスの削減目標 (目標年度の対策後排出量)		11,595 t-CO ₂	
温室効果ガスの削減目標 (目標年度の対策後排出量(平準化補正後))		12,326 t-CO ₂	
	選択	レ	目標削減率 (排出量ベース) 2.6 %
			目標削減率 (原単位ベース) %
			目標削減率 (平準化補正ベース) 5.5 %

目標削減率に関する考え方

大阪病院：院内LED照明への全館実施による目標への取組みや、大型機器（X線関連）医療機器の導入時の高性能及び省エネ化を図り温室効果ガスの低減化を図りたいと計画しています。
 星ヶ丘医療センター：原単位ベースでの年間使用量を前年度比の0.5%減、3年間で1.5%の削減計画を立て、照明器具のLED化及び熱源機器の運用などによる省エネを図り、温室効果ガス排出の抑制に取り組んでいきます。

大阪みなど中央病院：新病院になり、エアコン設置台数の増加に伴い電気使用量が増えました。目標年度である2022年度において、温室効果ガスを3%（排出量ベース）削減する目標を掲げるとともに、削減に努めます。

植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量

目標年度における吸収量	t-CO ₂	吸収量による削減率	%
-------------	-------------------	-----------	---

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容（目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入）

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値	()
(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)	

◎ 温室効果ガスの排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化のための対策

(1) 推進体制

大阪病院：省エネ委員会を推進して、LED化及び消灯、空調設備の省エネ運用管理による取組みを行っていきます。
 星ヶ丘医療センター：年間のエネルギー使用状況を常に把握し、省エネ推進関係者にて共有し、省エネルギーの啓発及び削減目標達成に向けた対策（不要照明の消灯・照明器具のLED器具への取替など）に取り組めます。

大阪みなど中央病院：空調設備の増加に伴い、省エネを職員に向け推進してまいります。

対 策 計 画 書

届出者	住所	大阪市淀川区宮原3-3-31 上村ニッセイビル13F	氏名	中外製薬株式会社 代表取締役社長 奥田 修
特定事業者の主たる業種		32その他の製造業		
該当する特定事業者の要件			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者	
		レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者	
事業の概要		医薬品卸売一般販売業		

◎ 温室効果ガスの排出の抑制に関する目標

(1) 計画期間			
2020 年	4 月	1 日	～ 2023 年 3 月 31 日 (3年間)
(2) 基準年度における温室効果ガス総排出量		250 t-CO ₂	
基準年度における温室効果ガス総排出量 (平準化補正後)		260 t-CO ₂	
(3) 温室効果ガスの削減目標 (目標年度の対策後排出量)		242 t-CO ₂	
温室効果ガスの削減目標 (目標年度の対策後排出量(平準化補正後))		252 t-CO ₂	
選択	レ	目標削減率 (排出量ベース)	3.2 %
		目標削減率 (原単位ベース)	%
		目標削減率 (平準化補正ベース)	3.1 %
<p>目標削減率に関する考え方</p> <p>中外製薬グループは中期環境目標としてCO2排出量削減目標を2030年では2019年比50%以上削減、2050年には100%削減を設定し環境保全活動に取り組んでいくことを考えています。この目標達成に向けて、営業本部ではMR等による医療機関への訪問量の減少や、EVの導入も視野に入れ、営業車両の使用燃料削減に取り組んでいきます。</p>			
植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量			
目標年度における吸収量	t-CO ₂	吸収量による削減率	%

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容 (目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入)

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値	()
(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)	

◎ 温室効果ガスの排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化のための対策

(1) 推進体制

<p>各オフィスにおける電気使用量を集計し、電気使用量の見える化を実施している。</p>
--

対 策 計 画 書

届出者	住所	東京都港区芝1-7-17 住友不動産ビル3号館4F	氏名	中間貯蔵・環境安全事業株式会社 代表取締役 小林 正明
特定事業者の主たる業種		88廃棄物処理業		
該当する特定事業者の要件		レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者	
事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> ・近畿2府4県に保管されているPCB廃棄物（トランス、コンデンサ、PCB油）を処理している。 ・処理施設は大阪市此花区北港白津に所在、西棟、東棟で構成。 ・西棟：トランス、コンデンサ等の油に含有されるPCBを「真空加熱分離法」及び「溶剤洗浄法」にて前処理して分離。 ・東棟：西棟で分離したPCBを「触媒水素化脱塩素化分解法」で無害化。 ・大阪市港区に事務所があり、営業活動を行っている。 		

◎ 温室効果ガスの排出の抑制に関する目標

(1) 計画期間			
2020 年	4 月	1 日	～ 2023 年 3 月 31 日 (3年間)
(2) 基準年度における温室効果ガス総排出量		11,066 t-CO ₂	
基準年度における温室効果ガス総排出量 (平準化補正後)		11,933 t-CO ₂	
(3) 温室効果ガスの削減目標 (目標年度の対策後排出量)		10,740 t-CO ₂	
温室効果ガスの削減目標 (目標年度の対策後排出量(平準化補正後))		11,580 t-CO ₂	
選択	レ	目標削減率 (排出量ベース)	3.0 %
		目標削減率 (原単位ベース)	%
		目標削減率 (平準化補正ベース)	3.0 %

目標削減率に関する考え方

当事業所は、操業開始より13年が経過し、効率的な操業により順調な成果を上げてきた。しかし、機器の老朽化やPCB処理にともなって発生する運転廃棄物の処理等で今後大幅な削減が見込めない状況にある。今後、①改修工事等により運転稼働時間 (PCB処理) を増加させる、②腐食対策工事等で設備トラブルを減少させる、③運転廃棄物を適正に全社計画に従って処理することによりバッチ処理の回転率を上げる等により、排出量ベースで3%削減を目指す。

なお、平成23年度を基準とした対策計画では原単位ベースの目標削減率を設定していた。しかし、今後事業終了 (2021年) へむけて運転廃棄物処理の割合が増加する予定であり、原単位ベースの削減を達成することは困難と考えて平成26年度を基準とした計画から排出量ベースの削減計画に変更し、今回も同様とした。

植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量

目標年度における吸収量	t-CO ₂	吸収量による削減率	%
-------------	-------------------	-----------	---

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容 (目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入)

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値 ()

(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)

◎ 温室効果ガスの排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化のための対策

(1) 推進体制

平成22年1月15日にISO14001認証を取得した。また、環境管理責任者である大阪事業所副所長が主催する「環境推進委員会」を3ヶ月に1回開催し、環境負荷削減に向けた活動を推進している。